

高蔵寺リ・ニュータウン計画（答申）の概要

1 目的

入居開始から47年が経過し、成熟した資産を形成する一方、高齢化等の課題が生じつつある。こうした状況を踏まえ、来るべき未来に向けて、多様な課題に対応し、実現性が高いプロジェクトと夢や希望を抱くことができる展望を併せ持つ計画を策定するもの

2 検討の経緯

これまで、長年にわたる住民の方との対話から、住民意見の集約を図るとともに、市・県・UR・高蔵寺ニュータウンセンター開発㈱を構成員とする「高蔵寺ニュータウン活性化施策検討会」で議論を行い、市として子育て支援施設や市民団体の活動の場を整備するなどできることから実施してきた。

これらの取組を踏まえて、将来のまちの姿を目指すために今年度、有識者・市民・関係団体の代表者等で構成された「高蔵寺ニュータウン未来プラン策定検討委員会」を設置し未来プランの検討を行い、住民参加のワークショップや意見交換会での意見も反映し、1月22日に検討委員会から市長に答申された。

3 基本理念

- 成熟した資産の継承
- 公共施設・生活利便施設の集約化とネットワークの構築
- 暮らしと仕事の多様性の確保
- 住民・事業者・市の協働の推進
- 持続可能な都市経営の仕組みの構築
- 高蔵寺ニュータウンを核とした周辺・広域との連携強化
- まちの新たなブランド力の創造と発信

4 施策の構成

(1) 先導的な主要プロジェクト

ア 先行プロジェクト

- 旧小学校施設（旧藤山台東小学校）を活用した多世代交流拠点の整備
- 民間活力を導入した J R 高蔵寺駅周辺の再整備

イ 展開プロジェクト

- 交通拠点をつなぐ快適移動ネットワークの構築
- センター地区の商業空間の魅力向上と公共サービスの充実
- スマートウェルネスを目指した団地再生の推進

ウ 情報発信プロジェクト

- ニュータウン・プロモーション
- ニュータウンまるごとミュージアム

(2) 課題に応じた主要な施策

ア 住宅・土地の流通促進と良好な環境の保全・創造

イ 身近な買い物環境の整備と多様な移動手段の確保

ウ 多世代の共生・交流と子育て・医療・福祉の安心の向上

エ 既存資産（ストック）の有効活用による多様な活動の促進

オ 高蔵寺ニュータウンを超えた広域的なまちづくりの推進

5 高森台・石尾台における取組

高森台地区をモデルとして都市再生機構の団地再生と連携し、都市再生機構賃貸住宅、高森山、県有地を含むエリアを拠点に、高蔵寺ニュータウン全域でスマートウェルネスを目指したまちづくりを推進する。

【具体的な取組の例】

- ①都市再生機構賃貸住宅、県有地等において、地域包括ケアに寄与する在宅看護・介護の事業所等の医療・福祉施設の誘導を図るとともに、サービス付き高齢者向け住宅等については需要に応じて適切に整備
- ②既存の戸建住宅を対象にサービス付き高齢者向け住宅並みのサービスを提供する事業所、歩いて通うことができる場所にあるデイサービス施設を始めとした、空き家等を活用した身近な介護の拠点づくりを推進